

12. 新・人生100年時代のサイエンス科 (2026年度)

【 火曜日 授業予定表 】

					午 前		午 後		
回	月	日	曜日	講座数	内容	講 師 名	自主活動(内容)	内 容 (講師名)	
1 学 期	1	6	月	①	★ ①入学式(大阪国際会議場)				
	2	4	14	火	1	科学技術との付き合い方	中村征樹(大阪大)	自己紹介・年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション	
	3		21	火	2	ゲノム編集による生命の不思議	伊川正人(大阪大)	コーダイオリエンテーション 終了後班役割説明	
	4		28	火	3	生物多様性から学ぶ、がん・老化の仕組み	石谷 太(大阪大)	自主活動	・班各担当・班長決定 各担当別会議 (代表者決定他)
	5		12	火	4	若返りは血管の老化防止から	高倉伸幸(大阪大)	〃	クラス委員長決定、遠足先行検討
	6	5	19	火	5	タンパク質の科学	山口 宏(関西学院大)	〃	みんなで語り仲良くなろう 「私の経験談、趣味」
	7		26	火	6	PD-1と新しいガン免疫療法	石田靖雅(奈良先端大)	〃	班別テーマ検討
	8		2	火	②	★ ②遠 足 (クラス単位で実施 日程変更可 1学期中に実施)			
	9	6	9	火	7	遺伝子・ウイルス・iPS細胞と「くすり」	水口裕之(大阪大)	自主活動	班別テーマ検討
	10 11		23	火	8③	③社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)		8 iPS細胞のこれから 14:00開始	高島康弘(京都大学iPS研究所)
	12		30	火	9	自主活動 班別テーマ検討		9 抗菌剤が効かない感染症時代を 迎えて 14:00開始	掛屋 弘(大阪公立大)
	13	7	7	火	10	植物と昆虫の相互関係	塩尻かおり(龍谷大)	自主活動	班別テーマ検討
	14		14	火	11	★校外学習-1 JT生命誌博物館		〃	フェスタのクラス発表テーマ内容検討
		8				夏 休 み			
2 学 期	15	9	15	火	12	腸内細菌と免疫	竹田潔(大阪大)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討
	16		29	火	13	微生物によるプラスチック分解	吉田昭介(奈良先端大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
	17		8	木	④	★ ④コーダイ健康まつり (日程・場所 未定)			
	18	10	13	火	14	微生物のバイオサイエンス	高木博史(奈良先端大)	自主活動	コーダイフェスタ発表準備
	19		20	火	15	微生物のバイオテクノロジー	高木博史(奈良先端大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
	20		27	火	16	免疫の老化を防いで若さを保とう	河本宏(京都大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
	21	11	10	火	17	食の安全(食中毒)	山崎伸二(大阪公立大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
	22		17	火	18	世界の感染症(いかに防ぐか)	山崎伸二(大阪公立大)	〃	コーダイフェスタ発表準備
	23		25	水	⑤	★ ⑤コーダイフェスタ (日程・場所 未定)			
	24	12	1	火	19	自主活動班別活動テーマ検討		19 海の豊かさを知ろう 13:30開始	澤田好史(近畿大学)
25	8		火	20	★校外学習-2 大阪市立科学館		自主活動	班別テーマ検討	
26	15		火	21	自主企画講座(日程変更可)		〃	成果発表会内容検討	
27	22		火	22	水素 ～作る・貯める・運ぶ・使う～	井上博史(大阪公立大)	〃	★校外学習-3 大阪市自然史博物館	
					冬 休 み				
3 学 期	28	1	12	火	23	これからの宇宙開発と生命(誕生)の痕跡を求めて	寺田健太郎(大阪大)	自主活動	成果発表会準備
	29		19	火	⑥	★ ⑥社会への参加活動・・・(仮日程;1学期~3学期の間に活動日を1回設定)			
	30		26	火	24	最近の新薬創生技術	坂田恒昭(大阪大)	自主活動	成果発表会準備
	31	2	2	火	25	遺伝子組み換え食品	半場祐子(京都工繊大)	〃	成果発表会準備
	32		9	火	26	地球温暖化・都市温暖化	半場祐子(京都工繊大)	〃	成果発表会資料まとめ
	33		16	火		学習成果発表会			
	34					⑦修了式			
35	3	2	火	⑧	★	⑧・⑨卒業旅行(クラス単位で実施 1泊2日)			
36		3	水	⑨					
授 業(自主企画、成果発表会)					27(講座数列1~27)				
学 習 事 業(①~⑨)					9(講座数列①~⑨)				
合 計					36				

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

2025/9/14